

令和6年度 循環型社会を実現する環境教育推進事業 事業実績書

【高千穂町立高千穂小学校】

1 活動の概要

- 緑化推進カレンダーをベースにした SDGsに関する学びを行い、各学年の発達段階に応じた活動や委員会による活動を行った。
- 高千穂中学校区の 5 校と共にテーマを設け、高千穂町の自然と関連付けた環境教育を行い、その自然を大切にするにはどのような活動をしていくかを考え、実践した。

2 SDGs の視点

- 11「住み続けられるまちづくり」 4「質の高い教育をみんなに」
12「つくる責任 つかう責任」 14「海の豊かさを守ろう」 15「陸の豊かさも守ろう」

事業の実施時期：補助を受けた日から令和 7年2月28日

1 学校の概要

- 本校は、グランドデザインの中に「キャリア教育・高千穂 GLOCAL の推進」を掲げ、
○「生きる力」社会人として自立した人材の育成
○世界農業遺産(GIAHS)、郷土を誇りに思う心の育成
○高千穂のことを具体的に語ることのできる人材の育成 を目指している。
2015年に高千穂町を含む地域一帯が世界農業遺産に認定された。これ以降、町内の小中学校では総合的な学習の時間を中心として、自然との共生を念頭において『高千穂 GLOCAL』に取り組んでいる。特に本校では、「緑化推進カレンダー」をベースに、豊かな自然環境を持続していく学習活動や体験活動を継続して取り組んでいる。

2 活動のねらい

- 学校や地域の環境美化活動や 4R 活動に取り組み、それを地域内外に発信することを通して、自ら気付き、主体的に行動できる児童を育成する。

SDGs の視点: 4「質の高い教育をみんなに」
11「住み続けられるまちづくり」

12「つくる責任 つかう責任」

14「海の豊かさを守ろう」 15「陸の豊かさも守ろう」

3 活動内容

(1)SDGs や4R 活動に関する学習

本校は4年生時に延岡市クリーンセンターに行き、ゴミの現状と具体的な分別方法について学ぶ。近年問題となっている海洋プラスティックゴミの話もしていただいた。



高学年では、理科や道徳の学習で企業提供教材を使い「カーボンニュートラル」や「海洋プラスティックゴミ」に関連した学習を行った。



授業を通して、児童は当事者意識を高め、「給食時のストローを使わない」や「ビニール袋をも

らわない」「エコバッグをいつも持つておく」など日常生活の中で自分にできることを考え、行動できるようになった。

3学期には、株式会社シンク・オブ・アザーズの難波裕扶子さんに森林の現状や持続的活用について学べるカードゲーム「moritomirai」の体験学習を行っていただき、5年生が楽しみながら自然の大切さを再確認した。



活動の様子は新聞や学校ホームページで紹介され、地域への啓発活動となった。

(2)年間を通した緑化推進活動(花いっぱいの学校)

5年前から環境教育の一環として緑化推進カレンダーを作成し、校内外の緑化活動に力を注いでいる。(画像資料はカレンダーの一部)

高千穂小 緑化推進カレンダー(令和2年度)(括弧内の数字は、グリーンタイム予定期間:水曜日の朝活動を基本とする)											
管理種付番	春										
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
あさがお 1年 ビニール(種播)	【あさがお】管理						【種播物(ミニトマト)】管理				
ミニトマト 2年 ハンマー ^{ビオラ} 【野菜種: 生活科】							名野菜の準備				
一人一日・その他の 育苗作業内 容	【ミニトマトの育苗】 【野菜の育苗】 【花の育苗】	【花の育苗】 【野菜の育苗】 【花の育苗】									
3年 ハンマー ^{ビオラ} ペチュニア											
4年 ハンマー ^{ビオラ} ペチュニア											
5年 ハンマー ^{ビオラ} サクランボ ノースポル											
6年 ハンマー ^{ビオラ} サクランボ											
宇佐農園作業											

担当が変わっても取り組めるようにカレンダー内に記録し、持続可能な緑化推進を図っている。また、ビニールのポットは処分せずに再利用し、肥料等の袋は使用済みの土を入れ、保管するための容器としても活用している。現在は、外掃除で集まる落ち葉を堆肥化する活動にも取り組んでおり、こうした緑化の4R活動の取組で年間約100袋分のゴミの少量化にも努めている。



前述以外にも2年生の生活科と連動して野菜(ジャガイモや大根)の栽培を行い、学校給食の材料の一部として、茎や葉は近隣の山羊の餌として消費してもらい地産地消の取組となつた。



(3)『高千穂 GLOCAL』(総合的な学習の時間)の取組

6年生では「景観プランナーになろう」という課題のもと持続可能な町づくりの提案を行っている。その中にも豊かな自然環境の維持や観光地としての景観保持を意識した取組をしている。地域の公民館や観光施設に季節ごとの花を置かせてもらい、環境美化に寄与している。



使用後の花や土等は回収し、再利用している。活用後のゴミ問題の解決にもつなげられた。

4 成果と課題

【成果】

年間を通して関連した環境教育に取り組むことにより、環境を保持していくためには自分自身の当事者意識を高め、実践していくことが大事であると考える児童が増えた。

【課題】

本校の緑化推進カレンダーを再考し、高千穂中学校区の共通実践事項のESDカレンダーを完成させ、小中学校の継続した取組になるよう連携する必要があると考える。

学校名:高千穂町立高千穂小学校
住 所:高千穂町大字三田井122番地
電話番号:0982-72-3251
E-mail:1801ec@miyazaki-c.ed.jp